


令和7年度子育て支援図書贈呈事業図書カタログ(小学校高学年)

<p>①</p>  <p>20 × 14cm 231p</p>	<p>②</p>  <p>19 × 13cm 269p</p>	<p>③</p>  <p>22 × 16cm 143p</p>	<p>④</p>  <p>23 × 19cm 207p</p>	<p>⑤</p>  <p>20 × 14cm 79p</p>
<p>誰かが忘れてしまった夢や、「おしまい」の文字が書かれず途中になった物語に、雨をかけてできる「雨ふる本」。寂しがり屋のルウ子は、ひよんなことから「雨ふる本屋」に迷いこみ…。</p>	<p>チャーリーの住んでいる町に、チョコレート工場がある。世界一大きくて、有名な、秘密の工場に5人の子どもたちが招待されるという。でも貧しいチャーリーにそんなチャンスはくるの？</p>	<p>スイス・アルプス山脈をつらぬく世界最長の鉄道トンネル「ゴッタルド・ベース・トンネル」。その壮大な開発計画の裏にはアルプスの自然や生命を守りたいという人々の思いがあった。</p>	<p>将来の「夢」や「仕事」、「やりたいこと」を見つけるにはどうすればいいのか？小中学生から、その家族にぜひ読んでほしい、池上彰さん監修の一冊。自分の可能性を広げ、これからの未来を楽しく、豊かにするヒントが満載。</p>	<p>1934年、マツさんの家にかわいい子馬がやってきた。しかしある日、一通の手紙が届き…。きずついたのは、人間だけじゃない。ある手記をもとにした、子どもに伝えたい戦争の物語。</p>
<p>「雨ふる本屋」 日向 理恵子 作 吉田 尚令 絵 童心社</p>	<p>「ロアルド・ダールコレクション2 チョコレート工場の秘密」 ロアルド・ダール 著 クエンティン・ブレイク 絵 柳瀬 尚紀 訳 評論社</p>	<p>「世界一長い鉄道トンネル スイス・アルプス山脈をほりすすむ」 笹沢 教一文 鈴木 さちこ・萩原 まお 絵 Gakken</p>	<p>「君に伝えたい「本当にやりたいこと」の見つけかた」 池上 彰 監修 KADOKAWA</p>	<p>「戦争にいったうま」 いしい ゆみ 作 大庭 賢哉 絵 静山社</p>
<p>⑥</p>  <p>20 × 14cm 363p</p>	<p>⑦</p>  <p>21 × 14cm 239p</p>	<p>⑧</p>  <p>20 × 14cm 186p</p>	<p>⑨</p>  <p>20 × 14cm 205p</p>	<p>⑩</p>  <p>20 × 14cm 253p</p>
<p>生まれてからずっと一緒に愛犬ギズモが老い先短いことを知ったジョージ。最愛の相棒に最高の一生を送らせるため、ギズモにさせてあげたいことリストを作り、実行していく。笑って泣けるドタバタ感動ストーリー。</p>	<p>「ちょっとヘンな本ってあるかしら？」「これなんてどうかしら！」いよいよ「本の時代」がやってくる。大人気の絵本作家・ヨシタケシンスケさんの、豊かな発想力がめいっぱい詰まった一冊です。</p>	<p>歴史の大きなうねりのなかで、男は、ひたすら北の大地を歩き続けた。旅の途中でアイヌの人々の村を訪れ、温かいもてなしに感謝と友情で応えた。北の大地の、あらゆるものを記録し、伝えようとした男の熱い物語。</p>	<p>おいしいご飯を作ってくれた祖母が亡くなり、父と天、陽、光の3きょうだいの生活は荒れていた。このままじゃよくないと思った天は思わぬきっかけから近所でも評判の通称「がみババ」から料理を教わるようになって…。</p>	<p>クラスのなかでうまくやっていけない雅也は、中1の夏休みに養蜂場を営むおじさんのいる北海道を訪れる。寝泊りすることになった「北の太陽」では、様々な事情を抱えた子どもたちが暮らして…。</p>
<p>「サヨナラの前に、ギズモにさせてあげたい9のこと」 ベン・デイヴィス 作 杉田 七重 訳 小学館</p>	<p>「あるかしら書店」 ヨシタケ シンスケ 著 ポプラ社</p>	<p>「カムイの大地 北海道と松浦武四郎」 泉田 もと 作 岩本 ゼロゴ イラスト 岩崎書店</p>	<p>「天の台所」 落合 由佳 著 講談社</p>	<p>「みつばちと少年」 村上 しいこ 著 講談社</p>
<p>⑪</p>  <p>20 × 14cm 156p</p>	<p>⑫</p>  <p>20 × 15cm 156p</p>	<p>⑬</p>  <p>20 × 15cm 319p</p>	<p>⑭</p>  <p>20 × 14cm 247p</p>	<p>⑮</p>  <p>22 × 15cm 126p</p>
<p>まったなし！海のプラごみ汚染。このままでは2050年には海の魚よりも重量が重くなるというプラスチックごみ。いま、世界が最も注目する環境問題がよくわかる1冊。</p>	<p>3年間おいしさを保存でき、誰でも食べられる「パンの缶詰」。缶詰を生み出し、海外の飢餓地域を救う仕組みまで作ったのは小さなパン屋さん。世界を救う「奇跡の缶詰」物語。</p>	<p>母を失い、決して人に馴れない生き物と共に生きる少女エリン。王獣の姿に心打たれ、王獣の医術師になろう志すエリンだったがやがてそのことが王国の運命を左右することとなる。</p>	<p>大災害が起こったら、ペットと一緒にどうやって生き残る？熊本自身の直後、ペット同伴避難所として多くのペットと飼い主を受け入れた「竜之介動物病院」からペット防災を考える1冊。</p>	<p>エベレスト登頂で、世界七大陸最高峰の最年少記録を打ちたたてたアルピニストの野口健さん。野口さんはその後、まっている人たちへの支援に力を入れる。つねに自分にながでできるのかを問い続ける野口さんの思いとは。</p>
<p>「クジラのおなかからプラスチック」 保坂 直紀 著 旬報社</p>	<p>「世界を救うパンの缶詰」 菅 聖子 文 やました こうへい 絵 ほるぷ出版</p>	<p>「獣の奏者 1 闘蛇編」 上橋 菜穂子 作 講談社</p>	<p>「竜之介先生、走る！」 片野 ゆか 作 高倉 陽樹 絵 ポプラ社</p>	<p>「登り続ける、ということ。」 野口 健 著 学研プラス</p>